



四国大会がいよいよ目前に迫ってきました。体調管理に気をつけて、この夏を乗り切りましょう！！

また、それぞれの地域で学校事務の校内研修等もあると思います。研修もしつつ、夏季休業中は2学期に向けてリフレッシュしましょう！！今号のわかたけは、先日行われた春季研修会の報告、四国大会・全国大会のご案内、調査研究部の紹介といった内容でお届けします。

☆高知県公立小中学校等事務春季研修会 報告☆

平成24年6月8日（金） 於：高知会館

◆参加者数◆ (計 177名)

安芸支部： 8名

香長支部： 34名

高知支部： 41名

高吾支部： 51名

幡多支部： 31名

臨時的任用職員： 11名

県教委他： 1名

◆会長あいさつ◆

皆さんは、新しくなった目標設定シートを記入してどうだったでしょうか。昨年と同じように目標達成の手立てを書いても、より具体的に数値化できる手立てを考えたのではないのでしょうか。

ネットトヨタ南国で人材育成を担当されているビスタワークス研究所の所長から、「成長したいという思いや意識がなければ、人は変わらない」ということをお聞きしたことがあります。哲学者のアンリ・フレデリック・アミエルは、考え方が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わると言っています。

また、ドラッカーは目標を立てるのは行動するためだと書いています。目標設定シートを、書かなければならない、書かされているではなく、自分の行動を変えるという気持ちで書いてみるのが大切ではないかと思います。

さて、四国大会まで約2か月半となりました。支部の皆さんの協力もいただきながら準備を進めているところです。研究の部分では、特に総括主任の方の力をいただきながら、分科会の成功に向けて準備をしています。全員で大会をつくりあげるといふ気持ちで参加していただくことで、お互いが、参加して良かったと実感できるいい大会になるのではないかと思います。また、学校事務への理解が、拡がりと深まりを増しますように、ぜひ、職場の方にも参加について声をかけていただけたらと思っています。

◆祝辞 高知県教育委員会 教職員・福利課長 ◆

皆様には日ごろからそれぞれの学校におきまして、教育の振興のためご尽力いただき誠にありがとうございます。また、県教委の様々な取組に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

これまで県の教育委員会は、深刻な学力課題をはじめ、いじめや不登校など本県が抱える教育課題の解決のために、平成20年に「学ぶ意欲を育む心に寄り添う緊急プラン」を策定し、学校・学級改革の放課後改革など、五つの改革と体力づくりに積極的に取り組んでまいりました。その結果、学力の着実な改善など、皆様のおかげをもちまして、着実に成果が上がっていると確信しております。皆様が継続して取り組んでおられる「学校事務で繋ぐ」ということは、まさにこれからの学校組織の運営において重要なテーマであり、学校事務職員の皆様が学校における唯一の行政の職員として、今まで積み上げてきた専門性を十二分に発揮され、さらに学校組織の活性化に貢献していただけることと強く願っております。皆様の支えがあってこそ、教員が安心して職務に専念でき、児童生徒の豊かな学びを支えていただいているということを確認しています。また、県の教育の一層の向上のために皆様のお力を貸していただきたいと思ひます。



◆研修報告「平成23年度 学校組織マネジメント指導者養成研修」◆

平成24年2月に、つくば市で開催された「平成23年度学校組織マネジメント指導者養成研修」に参加されていた、佐川町立佐川小学校 主幹さん、須崎市立須崎中学校 主幹さんの2名に研修報告をしていただきました。

「信頼される開かれた学校づくりのために」では、学校評価がどのような形で制度化されたのか、学校評価を学校の現状に即してどう修正していったらいいのかを話していただきました。

また、「学校におけるリスクマネジメント」では、学校や自分の常識は社会の非常識であり、市民の声や地域の声が常識であるということ、コンプライアンス意識を徹底し、常に誰かが見ている、見られているという意識を持ち職務を遂行していくことが大切だということが分かりました。また、知識や制度ではなく意識が大切であり、自分の気になった新聞記事を持ち寄って職場でグループ討議をすることにより、危機管理意識の向上にもつながっていくことを学びました。

「特色ある学校運営の取組」では、東日本大震災で被害を受けた学校の事務職員さんの話を聞きました。被災した中で、今、事務職員として子どものために何ができるかを考え、使命を果たそうとしたこと、“人と人とのつながりの中で生かされている”という言葉の重みに、南海地震に備えて事務職員として何ができるか真剣に考えていかないと感じました。

「学校組織マネジメント」では、事務職員の財務マネジメントに触れ、予算と教育をリンクさせ、学校全体で取り組むものとし、取り組んだことに対して効果があったのかを議論する等、PDCAサイクルの工夫が必要であることを感じました。また、一人ひとりの負担が大きくなり過ぎないように、共同実施等地域で連携することも大切だという話をしていただきました。

報告のまとめ方も分かりやすく、導入にも趣向がこらされていて、会場全体を引きつける大変すばらしい報告でした。



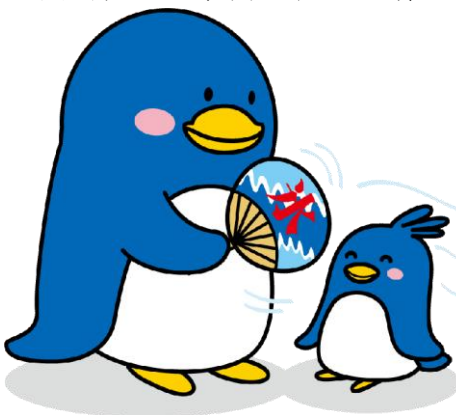
◆四国大会について◆

四国大会実行委員会から、四国大会の概要についての説明がありました。四国大会は昭和51年に香川県で第1回四国大会が開催され、以後、2年に1回、四国4県持ち回りで開催されています。

高知県での開催は今回で5回目となります。大会が成功するように、各県からの参加者が大会に参加してよかったと思ってもらえるように、皆さんにご協力をお願いしたいとの話がありました。

研究部からは、高知県担当の第4分科会の概要説明がありました。「学校力とは何か？学校の教育力と捉える。組織力を発揮するには、校長のリーダーシップ・教職員の専門能力・目標の共有化・創造力・チーム力・地域力などがうまく絡んでいくことが必要である。分科会討議の柱は、①質の高い教育の実現のために、どのように協働していくのか、具体策について ②学校力向上のためには、どのような事務機能の連動が有効であるのか。の二つになっている。学習指導要領を理解し、教育課程のより良い実施を教員と共にめざし、教育の質の向上に貢献したい。」との話がありました。

四国大会に向けて準備も迫込みとなっています。皆で大会を盛り上げていきましょう！



四国大会にワシが呼ばれてないが～、かまんかの～
みんな～で、頼むき盛り上げるがぜ～、期待しちゅうきね！！

四国大会まであと **35日** ぜよ



◆実務研修「人事評価について」◆

講師：高知県教育委員会事務局教職員・福利課 管理主事
高知市立介良潮見台小学校 校長

管理主事からは、H24.5.22 付の通知文書「諸手当における支給要件の変更及び喪失に関する事務の取扱いについて」の話がありました。「長期戻入は、平成20年以降で110件の該当があり、小中学校では56件、県立では54件で、総額で何千万円にもなっている。県立では監査で発覚することが多いが、小中学校では共同実施の取組などで分かることもある。時効は5年であり、何百万円かは時効になったものもある。今年度もすでに5件の該当があり、扶養手当1件、通勤手当4件となっている。『うっかりしていた』ではダメで、公金の不正支給となる。」とのお話には、給与事務担当者として職場での声かけや、正確な事務処理を行うことの大切さを痛感しました。

その後、人事評価制度の概要の説明がありました。「人事評価と昇給制度を繋げた。勤務成績は職員の職業能力育成の結果、もたらされるものである。今回の改正では、大きく4点あり、能力目標を明確にしたこと、目標水準の明示、5段階評価の導入、人事評価結果を昇給区分決定の根拠とすることがある。目標設定シートの作成にあたっては、重点とする職務の目標は自己目標に校長ビジョンが反映されているかが重要である。」などのお話を聞き、人事評価制度についての理解が深まりました。

続いて、校長先生からは「目標設定シートを書くことの意味を理解しているか。やらされ感が強くなっているのではないか、書く意味を確認したい。組織マネジメントの必要性、校長のリーダーシップが校長の研修でも言われている。組織と人材育成を大事にしている。高知市では、全力をあげて課題解決に取り組んでいる。人材育成のために目標設定シートで職務的な能力を高めていく。『重点とする職務の目標』を書くにあたっては、介良潮見台小では学校改善プランを使った。事務職員はそれを見ても書きづらいかもしれないが、学校事務にも学校を組織として機能させるための課題がある。学校改善プランに学校事務も含めることができれば良いのだが。予算執行や環境整備等、説明責任を果たすことに事務職員がどう関わるか。介良潮見台小では、先生方には三つのうちの二つは知徳体の中から選んでもらい、もう一つは学級経営について記載してもらった。学校事務職員に何を期待しているのか、何をすれば良いのか、各校で校長に聞いてみてほしい。学校によって課題が違うので、それを解決する視点を持ってほしい。学校事務においても、課題解決の方針は校長が示す。それができるように校長を支えることを学校事務職員に期待している。学校事務職員としての志と夢を職務目標の中にかに組み入れるかが課題ではないか。その志と夢を校長には理解しておいてもらう。高知市では給食調理などでアウトソーシングの話も出てきている。学校の中に事務職員がいることのあたり前を後輩に繋いでいくことを大事にしてほしい。学校の中に学校事務の風土が整備され、認められ、学校に学校事務職員は必要であると言えるような取組をお互いに頑張りたい。」とのお話でした。目標設定シートを書くにあたって、どのように書けば良いか迷った方も多いと思いますが、校長先生の分かりやすいお話がとても勉強になったのではないのでしょうか。学校事務職員としての志と夢も語れるようになりたいと思いました。

◆支部研究報告◆

各支部から、昨年度の研究報告をしていただきました。研究集録わか竹にも掲載されていますので、ぜひご覧ください。



◆第48回定期総会（出席者 165名、委任状 27名）◆

高知県公立学校事務研究会会則第7条2項により総会は成立し、第1号議案と第2号議案ともに賛成多数で可決されました。

◆会費納入のお礼◆

春季研修会での会費納入にご協力いただきありがとうございました。春季・夏季・冬季の研修会、県大会をはじめとする県事研の活動は、皆さんの会費で運営されています。会費納入がまだの方は冬季研修会でも会費を収集しますので、よろしく願いいたします。

四国大会のご案内



第19回四国地区公立小中学校事務研究大会（高知大会）

第44回高知県公立学校事務研究大会

大会テーマ 「ともに築こう！未来（あす）へつながる学校事務」

— 創造と発展 —

四国大会まで
あと35日!!

期 日 平成24年8月22日（水）～23日（木）

会 場 高知県民文化ホール（グリーンホール）、高知新阪急ホテル

日 程

		10:00	10:30	11:15	12:15	13:20	13:30	16:30
1日目		受付	開会式	文部科学省 行政説明	昼食 会場移動	受付	分科会	
	9:00	9:30	10:00	10:15	11:45	12:15		
2日目	受付	分科会 報告	四事研究 部活動報告	記念講演	閉会式			

分科会テーマとサブテーマ

第1分科会（香川県担当）

学校力を高める学校事務への挑戦 — キャリア形成と協働をデザインする —

第2分科会（愛媛県担当）

ネットワークを活かす — Step up とともに歩もう —

第3分科会（徳島県担当）

未来ある子どもたちのため、今、私たちにできること — 学校・地域の減災をめざして —

第4分科会（高知県担当）

学校事務で繋ぐ — 学校力を高める協働、連動機能を考えよう —

記念講演

「龍馬伝の遺したもの」 講師：高知県立坂本龍馬記念館 館長

申込み受付期間は終了していますが、新たに参加できるようになった方や当日参加できなくても資料参加にご協力いただける方は、長浜小まで連絡をお願いします。

また、各職場で管理職等他職の方への声かけにもご協力よろしくお願いします。

全国大会のご案内

第44回全国公立小中学校事務研究大会茨城大会

大会テーマ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」
一踏み出そう！みんなが元気な学校づくりー
～子どもたちの未来へのスタート～

期 日 平成24年8月2日（木）～3日（金）

会 場 つくば国際会議場 他

参加費 4,500円

その他

・すでに受付期間終了となっていますので、今後は大会当日受付のみとなります。

※ 全国大会の詳細は下記、HPでもご覧いただけます。



第44回 全国公立小中学校事務研究大会茨城大会 ホームページ

<http://ibaraki2012.com/>



～県事研のPR～

今回は「**調査研究部**」です。

“笑顔で元気にさわやかに、若々しく”をモットーに（笑）本年度は総勢10名で活動をスタートしました。研修会の際には、受付を担当していますので、ぜひぜひ参加をよろしくお願いいたします！

また部会は、和気あいあいと楽しく前向きに行っています♪今年度は、まだ新入部員さんがいませんので、興味のある方は、ぜひ気軽にいらしてください。部員さんを年代問わず大募集中です！！

～連絡先はこちらです～

（神田小学校またはお近くの調査研究部員まで）

さて、今年は8月22日（水）・23日（木）の2日間、高知県で四国大会が開催されますね。8年に一回の高知県での開催です。みんなで大会を成功させましょう。

たけのこのつばやき

梅雨は明けましたが、まだまだ雨がよく降りますね。気温も上がり蒸し暑い季節になってきました。あっという間に夏休みが近づき、もうすでに夏季休業中の計画を立てられている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

1学期残りわずか、全力で仕事に向き合い、仕事にも気持ちにも余裕を持って夏季休業を迎えたいですね。

そして夏季休業中には、四国大会も控えています。全員で協力して四国大会を成功させましょう！

総務部

